

新清掃工場整備ニュース

(準備工事の開始など)

発行番号: 第 10 号

発行年月: 令和元年 11 月

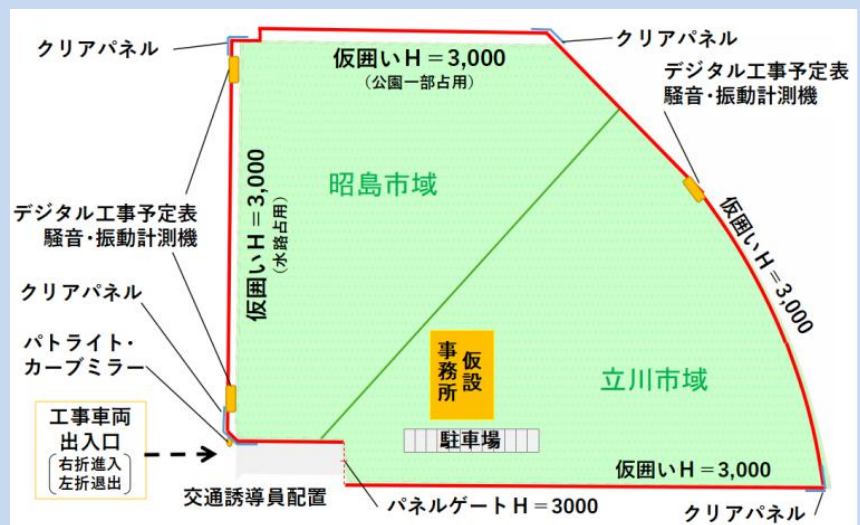
発行者: 立川市環境下水道部

新清掃工場準備室

新清掃工場の準備工事が始まりました!!

準備工事開始

令和2年7月からの本体工事に先立ち、建設地に仮囲いを設置するとともに、樹木の伐根、既存構造物及び汚染土壌の撤去等の準備工事を開始しました。併せて、不発弾調査に伴う異常点等の確認も行います。



準備工事のスケジュール

準備工事は、下表のスケジュールで作業を行う予定です。

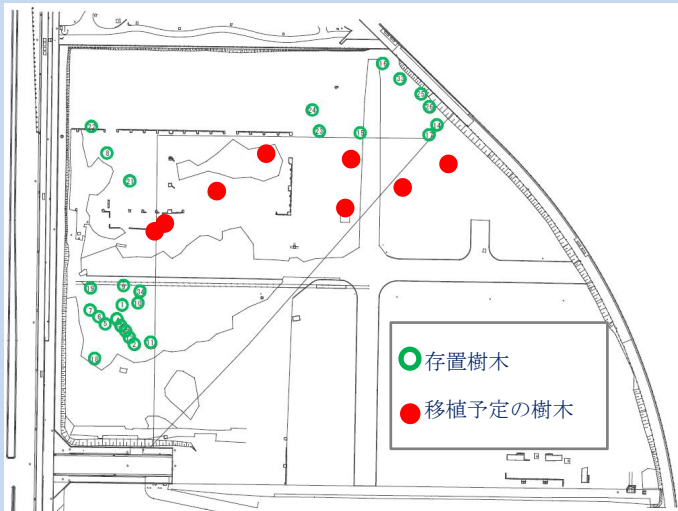
	2019年 9月	10月	11月	12月	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月~
仮設工事	準備工事のための仮設工事							本体工事のための仮設工事			本 体 工 事
樹木伐根・移植											
既存構造物 撤去・整地											
汚染土壌 撤去・整地											
不発弾調査に伴う 異常点等確認作業											
作業人員(人/日)	5~10人		10~18人			10~18人		14~20人			
作業車両(台/日)	3~5台		10~30台			30~60台		30~50台			

※地下埋設物等の増加により、作業車両の往来が増加する場合があります。

樹木伐採及び不発弾調査について

1. 樹木伐採業務

不発弾調査や施設整備に支障となる樹木の伐採を、平成31年3月中旬から4月末に実施しました。樹木伐採にあたっては一定の条件に基づき、可能な範囲で既存樹木を残しました。



【存置樹木条件】

- ・汚染土壌除去に支障のない樹木
- ・不発弾調査に支障がない樹木
- ・外来種に該当しない樹木
- ・樹形の良い樹木
- ・樹勢が良く管理に支障のない樹木
- ・既存構造物により伐採できない樹木

【存置樹木】

- ・35本 サクラ、エノキ及びムクノキ等

【今後の予定】

- ・施設整備に支障がある8本の樹木については、敷地内で仮移植を予定しています。

2. 不発弾調査業務

建設地が立川飛行場跡地という歴史を踏まえ、令和元年5月上旬から7月中旬に工事の安全を図ることを目的に、現状地盤面より1.5mまでの深さで、250kg相当の爆弾を対象とした不発弾調査を実施しました。



空中写真 1974年12月26日撮影
(国土地理院 地図・空中写真閲覧サービスより引用)

写真の破線内は新清掃工場建設地。建物や土間コンクリートらしきものがあつたことが分かります。

【探査の結果】

- ・磁気異常点(250kg相当の爆弾から計測される可能性のある磁気量の最低値7.0μWb以上)が103点
- ・面的広がりを持つ、異常密集の磁気異常が3区域

【対応】

- ・今後、異常物の確認を行いながら準備工事や施設整備工事を進めます。

問合せ先など

これまでの新清掃工場整備ニュースは、立川市ホームページ「新清掃工場整備ニュース」でご覧いただけます。
「暮らし・環境」→「ごみ・リサイクル」→「清掃工場移転問題」→「新清掃工場整備ニュース」

問合せ先: 環境下水道部 新清掃工場準備室 電話 042-523-2111 内線 4012